

1日目

令和8年1月22日(木)

第34回全国救急隊員シンポジウム開催プログラム

2階 エントランスロビー 【開場】 8時30分～ 【受付】 8時45分～	
第1会場 熊本城ホール 4階 メインホール:収容人数2,000人	
開会式	
9:30～10:10	
<40分>	
挨拶: 熊本市長・一般財団法人救急振興財団理事長 紹介: 消防庁・熊本県・熊本市議会・公益社団法人日本医師会・一般社団法人日本救急医学会 一般社団法人日本臨床救急医学会・全国消防長会・一般財団法人全国市町村振興協会 公益社団法人熊本県医師会・一般社団法人熊本市医師会・公益財団法人熊本県市町村振興協会 報告: 全国救急隊員シンポジウム運営委員長	

メインテーマ

「REVIVAL-リバイバル-」

～救急隊員の新たな未来像を熊本から～

移動・準備（20分）

<div>第1会場 4階 メインホール:収容人数2,000人</div> <div>特別講演</div> <div>10:30～11:30 <60分> 「REVIVAL-リバイバル」 ～救急隊のこれまでの歩み～</div> <div>講師 入江 弘基（熊本大学病院）</div> <div>司会 丸山 修（熊本市消防局）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>一般発表 1</div> <div>11:45～13:25 <100分> 「優秀演題発表」 ～優秀演題に学ぶ～</div> <div>座長 越智 美穂（横浜市消防局）</div> <div>司会者 甲斐 千裕（熊本市消防局）</div> <div>助言者 佐々木 淳一（慶應義塾大学） 橋本 光司（熊本市消防局）</div> <div>発表者 佐藤 和寿（新潟市消防局） 佐藤 加奈子（土浦市消防本部） 仲山 智士（浜松市消防局） 横口 将大（伊丹市消防局） 壺内 和樹（松山市消防局） 松本 章寿（熊本市消防局） 三好 智大（広島市消防局）</div> <div>休憩（50分）</div> <div>教育講演 1</div> <div>14:15～15:15 <60分> 「救急救命処置のさらなる拡大と救急業務」 ～エビデンの対象拡大に関する 実証事業と新たな展開～</div> <div>講師 田邊 晴山（救急救命東京研修所）</div> <div>司会 高橋 宣明（仙台市消防局）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>教育講演 2</div> <div>15:30～16:30 <60分> 「研究の結果から導けるもの」 ～救急隊の視点から～</div> <div>講師 西山 知佳（京都大学大学院）</div> <div>司会 後藤 健太郎（東京消防庁）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>教育講演 3</div> <div>16:45～17:45 <60分> 「JRCガイドライン2025」 ～知って得するトピックス～</div> <div>講師 畑中 哲生（健和会大手町病院/救急救命九州研修所）</div> <div>司会 柴崎 洋明（北九州市消防局）</div>	<div>第2会場 2階 シビックホール:収容人数750人</div> <div>スキルトレーニング 1</div> <div>10:30～13:30 <180分> 「ハイクォーマンスCPR」 ～CPRの質を向上させる～</div> <div>講師 坂本 哲也（公立昭和三病院）</div> <div>司会 西山 知佳（京都大学大学院）</div> <div>指導者 石見 拓（京都大学大学院） 梶野 健太郎（関西医科大学） 竹内 一郎（横浜市立大学） 田中 秀治（国士舘大学大学院） 田邊 晴山（救急救命東京研修所） 畑中 哲生（健和会大手町病院/救急救命九州研修所） 福島 英賢（奈良県立医科大学） 松山 匡（京都府立医科大学） 原 貴大（明治国際医療大学） 川江 翔平（井原地区消防組合消防本部） 鈴木 寛宗（高崎市等広域消防局） 高木 満（射水市消防本部） 高田 康平（白山野々市広域消防本部） 高橋 健太（中津川市消防本部） 中畑 郁実（横浜市消防局） 仲松 千尋（名護市消防本部） 長谷 浩（明石市消防局） 宮原 宏徳（名護市消防本部） 森 一郎（大島地区消防組合消防本部） 山田 浩貴（横手市消防本部）</div> <div>休憩（60分）</div> <div>スキルトレーニング 2</div> <div>14:30～16:00 <90分> 「臨床思考トレーニング」 ～生涯教育を身近に シナリオトレーニングのすすめ～</div> <div>講師 田口 健蔵（救急救命九州研修所） 大矢 浩史（救急救命九州研修所） 田代 恵太（救急救命九州研修所）</div> <div>司会 立岩 義幸（救急救命九州研修所）</div> <div>指導者 安武 賢史（救急救命九州研修所） 吉村 俊貴（救急救命九州研修所） 網尾 達広（救急救命九州研修所） 関尾 樹切（救急救命九州研修所） 中野 幹太（救急救命九州研修所） 竹岡 康彦（救急救命九州研修所） 尾松 茂雄（救急救命九州研修所） 井上 晶博（救急救命九州研修所）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>スキルセミナー 1</div> <div>16:15～17:45 <90分> 「救急脳のつくり方」 ～レッドフラッグを見逃すな～</div> <div>講師 望月 礼子（鹿児島大学）</div> <div>指導者 佐藤 朝之（市立札幌病院） 田代 尊久（さいたま市消防局） 小池 弘幸（さいたま市消防局） 前田 聡史（神戸市消防局） 三平 学（安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div>	<div>第3会場 3階 A1会議室:収容人数300人</div> <div>パネルディスカッション 1</div> <div>10:30～12:00 <90分> 「大規模災害」 ～課題と取組みを共有する～</div> <div>座長 中村 隆司（広島市消防局）</div> <div>アドバイザー 石原 諭（兵庫県災害医療センター） 浦 正樹（佐世保市消防局）</div> <div>ディスカッサント 小谷 真一（奥能登広域圏事務組合消防本部） 戸川 真登（甘木・朝倉消防本部） 中峰 敏宏（尼崎市消防局） 谷 直樹（熊野市消防本部） 山村 一臣（人吉下球磨消防組合消防本部）</div> <div>休憩（45分）</div> <div>パネルディスカッション 2</div> <div>12:45～14:15 <90分> 「救急活動とDX」 ～救急活動の効率化、円滑化～</div> <div>座長 高橋 和希（名古屋市消防局）</div> <div>アドバイザー 清端 康光（大阪公立大学大学院） 中東 謙（下関市消防局）</div> <div>ディスカッサント 三嶋 宏和（北九州市消防局） 渡邊 佳祐（札幌市消防局） 川崎 昌博（川崎市消防局） 山内 直樹（阿蘇広域行政事務組合消防本部） 遠藤 太（東京消防庁）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>パネルディスカッション 3</div> <div>14:30～16:00 <90分> 「ライフステージに寄り添う現場改革」 ～働きやすい職場を目指して～</div> <div>座長 森田 猛（京都市消防局）</div> <div>アドバイザー 織田 順（大阪大学医学部附属病院） 畑 博之（姫路市消防局）</div> <div>ディスカッサント 下村 史弥（高知市消防局） 中嶋 さなえ（高崎市等広域消防局） 大倉 一真（徳島中央広域連合消防本部） 遠藤 義行（宇都宮市消防局） 松下 智光（袋井市森町広域行政組合袋井消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>パネルディスカッション 4</div> <div>16:15～17:45 <90分> 「マスキュラリング災害」 ～安全な集いを守るために～</div> <div>座長 太田 圭彦（静岡市消防局）</div> <div>アドバイザー 田代 尊久（熊本ACLS協会） 中野 邦宏（倉敷市消防局）</div> <div>ディスカッサント 毛利 健太郎（久留米広域消防本部） 周藤 信博（東京消防庁） 堀谷 壮史（大阪市消防局） 熊本 公司（熊本市消防局） 山崎 明香（日本救護救急財団）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>パネルディスカッション 5</div> <div>10:30～12:00 <90分> 「DNARを考える」 ～救急現場における現状と課題～</div> <div>座長 山内 文健（さいたま市消防局）</div> <div>アドバイザー 伊藤 重彦（病院前救護と健康管理研究会） 寺村 一成（総務省消防庁）</div> <div>シンポジスト 後藤 慶次（ひまわり在宅クリニック） 渋谷 洋平（長崎市消防局） 寶楽 元樹（南さつま市消防本部） 浪川 尚也（旭市消防本部） 西 栄一郎（大島地区消防組合消防本部）</div> <div>休憩（45分）</div> <div>シンポジウム 2</div> <div>12:45～14:15 <90分> 「救急隊員の世代別教育アプローチ」 ～学び合い、高め合う新しい教育体制～</div> <div>座長 黒住 信之（岡山市消防局）</div> <div>アドバイザー 横田 順一郎（堺市立病院機構） 高橋 伸一（秋田市消防本部）</div> <div>シンポジスト 堀田 明裕（大阪市消防局） 山本 克志（津山圏域消防組合消防本部） 中下 真道（大津市消防局） 須藤 友彦（総務省消防庁消防大学校） 横原 文（豊田市消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>シンポジウム 3</div> <div>14:30～16:00 <90分> 「バイスタンダーに対するサポート」 ～地域でのメンタルサポートを含めた 応急手当実施者へのサポートについて～</div> <div>座長 渡部 和也（堺市消防局）</div> <div>アドバイザー 石見 拓（京都大学大学院） 千葉 一也（別府市消防本部）</div> <div>シンポジスト すがわらえみ（AQUAKids safety project） 長野 庄貴（日本AED財団） 田島 典夫（小牧市消防本部） 松田 温（沖縄市消防本部） 裏南 元貴（名張市消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>シンポジウム 4</div> <div>16:15～17:45 <90分> 「救急隊の働き方改革」 ～救急隊員の労務管理について～</div> <div>座長 森下 大志（福岡市消防局）</div> <div>アドバイザー 野田 中秀（国士舘大学大学院） 安富 涼一（佐賀広域消防局）</div> <div>シンポジスト 山下 晃司（山口市消防本部） 大藪 昇吾（高松市消防局） 中田 裕次郎（津市消防本部） 澤田 浩吉（鳥取・三養基地区消防事務組合消防本部） 長谷川 憲（柏崎市消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div>	<div>第4会場 3階 A2会議室:収容人数300人</div> <div>シンポジウム 1</div> <div>10:30～12:00 <90分> 「DNARを考える」 ～救急現場における現状と課題～</div> <div>座長 山内 文健（さいたま市消防局）</div> <div>アドバイザー 伊藤 重彦（病院前救護と健康管理研究会） 寺村 一成（総務省消防庁）</div> <div>シンポジスト 後藤 慶次（ひまわり在宅クリニック） 渋谷 洋平（長崎市消防局） 寶楽 元樹（南さつま市消防本部） 浪川 尚也（旭市消防本部） 西 栄一郎（大島地区消防組合消防本部）</div> <div>休憩（45分）</div> <div>シンポジウム 2</div> <div>12:45～14:15 <90分> 「救急隊員の世代別教育アプローチ」 ～学び合い、高め合う新しい教育体制～</div> <div>座長 黒住 信之（岡山市消防局）</div> <div>アドバイザー 横田 順一郎（堺市立病院機構） 高橋 伸一（秋田市消防本部）</div> <div>シンポジスト 堀田 明裕（大阪市消防局） 山本 克志（津山圏域消防組合消防本部） 中下 真道（大津市消防局） 須藤 友彦（総務省消防庁消防大学校） 横原 文（豊田市消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>シンポジウム 3</div> <div>14:30～16:00 <90分> 「バイスタンダーに対するサポート」 ～地域でのメンタルサポートを含めた 応急手当実施者へのサポートについて～</div> <div>座長 渡部 和也（堺市消防局）</div> <div>アドバイザー 石見 拓（京都大学大学院） 千葉 一也（別府市消防本部）</div> <div>シンポジスト すがわらえみ（AQUAKids safety project） 長野 庄貴（日本AED財団） 田島 典夫（小牧市消防本部） 松田 温（沖縄市消防本部） 裏南 元貴（名張市消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>シンポジウム 4</div> <div>16:15～17:45 <90分> 「救急隊の働き方改革」 ～救急隊員の労務管理について～</div> <div>座長 森下 大志（福岡市消防局）</div> <div>アドバイザー 野田 中秀（国士舘大学大学院） 安富 涼一（佐賀広域消防局）</div> <div>シンポジスト 山下 晃司（山口市消防本部） 大藪 昇吾（高松市消防局） 中田 裕次郎（津市消防本部） 澤田 浩吉（鳥取・三養基地区消防事務組合消防本部） 長谷川 憲（柏崎市消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div>	<div>第5会場 3階 A3会議室:収容人数300人</div> <div>一般発表 2</div> <div>10:30～12:00 <90分> 「救急活動（内因性）」</div> <div>座長 松枝 正樹（奈良県広域消防組合消防本部）</div> <div>助言者 横山 徹（救急救命東京研修所） 矢野 裕明（佐伯市消防本部）</div> <div>発表者 渡邊 智（須賀川地方広域消防組合消防本部） 川原 康二（盛岡地区広域消防組合消防本部） 今村 圭佑（横浜市消防局） 小松 裕紀（さいたま市消防局） 岡山 元紀（名古屋市消防局） 横西 祐希（高槻市消防本部） 高木 崇（奈良県広域消防組合消防本部）</div> <div>休憩（45分）</div> <div>一般発表 7</div> <div>12:45～14:15 <90分> 「救急活動（特異事案①）」</div> <div>座長 宮副 樹巳（泉央地区広域市町村圏組合消防本部）</div> <div>助言者 太田黒 崇伸（長崎大学病院） 吉川 剛投（田川地区消防本部）</div> <div>発表者 鈴木 慶太郎（常総地方広域市町村圏事務組合消防本部） 佐藤 亮（川崎市消防局） 浅野 亜美（浜松市消防局） 土屋 貴裕（駿東伊豆消防本部） 幸元 宏樹（京都市消防局） 堀内 健伍（八尾市消防本部） 清角 勝久（江津邑智消防組合消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>一般発表 12</div> <div>14:30～16:00 <90分> 「救急DX①」</div> <div>座長 尾内 元（奈良市消防局）</div> <div>助言者 小原 正晴（昭和医科大学） 坂本 剛（千葉市消防局）</div> <div>発表者 福島 克（石巻地区広域行政事務組合消防本部） 松浦 武琉（日立市消防本部） 高田 康平（白山野々市広域消防本部） 羽場 好希（四日市市消防本部） 橋本 泰行（姫路市消防局） 細川 慧（広島市消防局） 石原 和典（栄町消防本部）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>一般発表 17</div> <div>16:15～17:45 <90分> 「救急需要対策」</div> <div>座長 谷津 直樹（横浜市消防局）</div> <div>助言者 野田 英一郎（九州医療センター） 渡辺 隆一（名古屋市消防局）</div> <div>発表者 小暮 拓也（東宮消防庁） 佐藤 等也（横浜南消防局） 松本 華雄（加古川市消防本部） 田中 隼（川崎市消防局） 菊池 恭嘉（大牟田市消防本部） 藤村 慎也（春日井市消防局） 園田 隆生（熊本市消防局）</div> <div>休憩（15分）</div> <div>一般発表 21</div> <div>16:15～17:45 <90分> 「応急手当普及啓発②」</div> <div>座長 隈部 尚樹（菊池広域連合消防本部）</div> <div>助言者 林 敏雅（愛仁会千船病院） 村上 謙人（唐津市消防局）</div> <div>発表者 小暮 拓也（東宮消防庁） 佐藤 等也（横浜南消防局） 松本 華雄（加古川市消防本部） 田中 隼（川崎市消防局） 菊池 恭嘉（大牟田市消防本部） 藤村 慎也（春日井市消防局） 園田 隆生（熊本市消防局）</div> <div>休憩（15分）</div>
---	--	--	--	---

資
器
材
展

2階 エントランスロビー 【開場】 8時30分～ 【受付】 8時45分～

【基本理念】
平成28年熊本地震は、観測史上初となる最大震度7の激震が短期間に2度発生し、4千回以上の余震があるなど、これまでに経験したことのない未曾有の大災害となりました。あの大地震から今年で10年となります。この10年の間にも、全国では多くの災害が発生し、新型コロナウイルス感染症の流行もあり、我々消防や関係機関は、その度態命に災害に立ち向かい、力の無さを痛感し、全国の仲間助けられ、教訓を活かし、再び立ち上がってきました。
今日の救急医療を取り巻く環境に目を向けると、超高齢社会を迎え、新型コロナウイルス感染症の流行後から続く救急需要対策、医師の働き方改革、社会情勢の大きな変化への対応等、様々な課題が山積しています。また、近年では救急業務へのICT技術の活用、救急救命士の処置拡大に伴う救急体制の強化など、救急行政に求められる国民からのニーズにも変化が見受けられます。
今後どこかで発生することが予想される大災害や、大きく変化する時代に対応するため、今、我々救急隊員に求められているのは、国民の安心安全の要でありライフラインとも言える救急業務において、自覚と誇りを持った地域医療の重要な担い手となるべく、再び過去の教訓から学び、未来に向かって新たな一歩を踏み出すことだと思います。
17年前に熊本で開催された、第17回全国救急隊員シンポジウムでは、「救急隊員の未来像」をテーマに、2日間にわたる討議を経て、次のとおり「提言」としてとりまとめられ、全国に向けて発信されました。
「救急隊員は、「Professional Autonomy（プロフェッショナル オートノミー）」即ち、専門家としての自律性を高め、プレホスピタルにおける責任ある地位を確立することで、地域における救急医療の重要な担い手とならなければならない。」
今回メインテーマに掲げる「REVIVAL-リバイバル-」には、復活、復興、再興、蘇生等の意味があります。
今回のシンポジウムでは、大災害からの教訓や復興への道のりを示すとともに、17年前の提言について再び興し、改めて我々救急隊員が、プレホスピタルにおける責任ある地位を確立し、地域医療の重要な担い手となるべく、過去、現在、そして未来について、力強く復興への歩みを進めるここ熊本の地で、懐かしい仲間や新しい仲間と大いに議論し、「熊本が震災からの復興を続ける姿」と「救急隊員の新たな未来像」を全国に向けて発信します。